

知能化ソフトウェアの研究から開発を一気通貫で担う新会社 「Toyota Research Institute Advanced Development」を 東京に設立

- トヨタは、自動運転技術の先行開発分野での技術開発を促進するために東京に新会社を設立
- TRIのChief Technology Officerを務めるジェームス・カフナー氏が新会社CEOに就任
- 新会社は、エンジニアの新規採用も重視し1000名規模の体制、社内公用語を英語へ
- 新会社にはアイシン、デンソーも出資し、共同技術開発を行うことに加え、3社で3000億円以上の開発投資を実施することに基本合意

自動運転技術の先行開発分野での技術開発を促進するために、トヨタは、新会社「Toyota Research Institute Advanced Development (TRI-AD)」(以下、新会社)を2018年3月下旬までに、東京に設立することを決定しました。新会社のCEOには、Toyota Research Institute (TRI)のChief Technology Officerを務めるジェームス・カフナーが就任します。新会社では、新規採用に加え、トヨタ、TRI、アイシン、デンソーのメンバーも含めて、1000名規模の体制とすることを目標とします。また、現在、新会社の活動拠点として、アクセスや採用面で魅力のある新たなロケーションを選定しており、新会社で英語を社内公用語にすることも含め、仕事の進め方や社内ルール等も全く新たに構築し、次の世代の1つのモデルケースとすることを目指しています。

自動車業界は100年に一度の変革期にあり、中でも自動運転では、Lidar^{*1}のような新たなセンシングデバイス、ディープラーニング技術を用いた画期的な認識、判断性能の向上や、OTA (Over The Air)^{*2}を用いたソフトウェア更新、自動運転用の地図や、さらにはその自動生成など、幅広く新しい技術に取り組んで行くことが求められています。特にソフトウェアやデータハンドリング技術の重要性は、これまでにないスピードでますます高まっています。

そのような環境変化に対応すべく、トヨタは2016年にTRIを北米に設立し、AI、自動運転、ロボティクスといった技術の研究を行って来ました。そしてこの度、さらなる競争力強化を目指し、本新会社を設立することとしました。

<新会社の狙い>

- ① 研究から開発まで一気通貫のソフトウェア開発の実現、及びデータハンドリング技術の強化
- ② TRIとの連携を強化し、その研究成果を先行開発、そして製品へと効率良くつなぐ
- ③ 研究、先行開発領域における、トヨタグループ内での開発の連携強化による開発のスピードアップ
- ④ 国内外トップ人材採用により開発力を強化しつつ、トヨタグループ内の知能化人材を育成

以上を実現するために、従来とは異なる発想で新たなスキームを構築することが必要だと考え、今回、アイシンとデンソーおよびトヨタは、自動運転技術の先行開発分野における共同技術開発に向けた覚書を締結しました。

また、3社それぞれが新会社に開発投資を実施することを予定しており、約3000億円以上の投資を実行することを想定しています。今後3社は、具体的な共同開発契約の締結を目指して、更に協議を進めて参ります。

新会社のCEOを務めるジェームス・カフナーは、「製品として高品質なソフトウェアを作りあげていくことは、トヨタの自動運転開発において大変重要な取り組みです。新会社のミッションは、世界トップクラスの人材を新たに採用することも含め、トヨタグループの技術力を強化することで、より効率的に、そして今までにない方法で、ソフトウェア開発を加速させていくことです。新規採用はグローバルに行います。新会社での取り組みを率いていくことを非常に楽しみにしています」と語りました。

トヨタのフェローおよびTRIのCEOで、新会社の取締役役に就任予定のギル・プラットは、「トヨタはこれまで、トヨタ生産方式(TPS)による品質の高さや効率性でその名を知られてきました。根源的なTPSの考え方を、ハードウェアづくりだけでなく、ソフトウェアづくりにも反映していくことで、ソフトウェアにおけるトヨタの技術力を大きく向上させられることに疑いの余地はありません。それこそがTRIがこれまで取り組んできたことであり、今後TRI-ADがいつそう加速して進めていくことです」と語りました。

<新会社の概要>

会社名	トヨタ・リサーチ・インスティテュート・アドバンスド・デベロップメント株式会社 (略称 TRI-AD)
所在地	東京都文京区後楽一丁目四番地十八号(トヨタ自動車株式会社 東京本社内) ※実際の活動拠点として新たなロケーションを選定中
出資金	5,000万円(出資比率:トヨタ90%、アイシン5%、デンソー5%)
役員体制	代表取締役 CEO: ジェームス・カフナー(James Kuffner) 取締役: ギル・プラット(Gill A. Pratt) 代表取締役: 奥地 弘章 取締役: 鯉淵 健 監査役: 上田 達郎
社員数	発足時: 約300名(トヨタ、デンソー、アイシンの従業員) ※今後、新規採用を含め、1000名規模の体制を目標とする

- * 1 LIDAR(ライダー): Light Detection And Ranging の頭文字を取ったもので、レーザー光線を用いて、周辺環境の立体的な様子を捉える技術、または機器。
- * 2 OTA(Over The Air): 無線通信を経由して、ソフトウェアの更新を行うこと。

以上